

中期ビジョン（5か年計画）

I 本校が目指す姿

① 学校の現状や課題

明治35年創立の本校は、文と武の両方を重んじる「右文尚武」、飾り気がなく、強く健やかな「質実剛健」、優れた者同士が切磋琢磨し人格を高め合う「玲瓏同氣」の三つを校標とし、今日まで長い歴史と伝統が築かれてきた。この三つの校標は、日々の教育活動を支える「不易」な理念となっている。

昭和23年に併設された定時制課程では、働きながら学ぶことや学び直しを希望する生徒の学習ニーズに応える学校として様々な教育活動に取り組んでいる。4年間で卒業できる夜間定時制（17:15～20:35）であるが、午後の授業（15:25～17:00）も履修することにより三年間で卒業できる三修制も実施している。在籍生徒数は減少傾向にあるが、様々な事情で本校に在籍している生徒に学ぶ力、生きる力を身に付けさせ、社会的・職業的に自立できるような指導体制の充実が求められている。

② 学校を取り巻く将来の状況の予測

ここ由利本荘市やにかほ市の児童生徒数は、年度によってばらつきはあるものの減少傾向にあり、本校定時制課程に在籍する生徒数も減少しつつある。しかしながら、変化の激しい時代をたくましく生き抜く力を育成し、多様な学習ニーズに応える場としての本校定時制課程の役割は重要である。

③ スクール・ポリシー

i) グラデュエーション・ポリシー（目指す生徒像）

(1) 教育目標

将来の社会を担う人材となるべく、人格の完成と真理の探究に努める心身ともに健全な生徒を育成する。

(2) 教育方針

- ・未来を切り拓く人間力を高め、社会に貢献する人材を育成する。
- ・高い志をもち自己実現を果たそうとする姿勢を育成する。
- ・社会と関わりながら学ぶ「働学一体（どうがくいったい）」の精神を涵養する。

(3) 重点目標

- ・自主自律の精神の伸長し、自ら人生を切り拓く生徒の育成
- ・時代の変化に対応できる、心豊かにたくましく生きる生徒の育成
- ・「働学一体」の実現に向け努力する生徒の育成

※ 「教育方針」の中の「未来」には、生徒一人一人の未来、ここ由利本荘市・にかほ市の未来、ふるさと秋田の未来、という意味が込められている。「自己実現」には、変化の激しいこれからの時代に主体的に向き合い、自らの可能性を發揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となってほしいという願いが込められている。

ii) カリキュラム・ポリシー（本校の学び）

(1) 編成方針

- ・基礎的な知識・技能がしっかりと習得できる教育課程を編成する。
- ・「働学一体」の精神を実現する教育課程を編成する。

(2) 実施方針

- ・少人数できめ細やかな指導により、個々の状況に応じた学習活動を展開する。
- ・家庭・アルバイト先・スクールカウンセラー等との連携を行う。

iii) アドミッション・ポリシー（求める生徒像）

- (1) 自主自律の精神を伸長し、自らの力で人生を切り拓く生徒。
- (2) 時代の変化に対応できる、心豊かにたくましく生きる生徒。
- (3) 「働学一体」の実現に向け努力する生徒。

II 5年間を通しての具体的な目標と取組

① 5年間を通しての具体的な目標

i) 社会的自立に必要な資質・能力を身に付けた生徒を育む。

- (1) 主体的に学ぶ生徒、学びに向かう力の育成
- (2) 基礎学力の定着

ii) 志高く、自主自律の下、心豊かにたくましく生きる生徒を育む。

- (1) 「働学一体」の推進
- (2) 自立的・自律的行動への支援

iii) 豊かな感性や創造性に満ちた、心身の調和のとれた生徒を育む。

- (1) 豊かな人間性を育む教育活動
- (2) 心の居場所となる学校づくり
- (3) 保護者、地域社会等との連携・協働

② 目標を達成するための具体的な方法、取組等について

i) 授業改善を推進し、生徒の学力向上を目指す。

- (1) 主体的・対話的で深い学びによる、確かな学力の育成
- (2) 思考力・判断力・表現力等の養成による「問い」を發する生徒の育成
- (3) 生徒一人ひとりの学びの支援
- (4) 授業におけるICTの効果的な活用についての研究

ii) 部活動や学校行事、生徒会活動等を通して生徒の社会性を育む。

- (1) 自尊感情や自己有用感の醸成
- (2) 他者への思いやり、規範意識を身に付けた生徒の育成
- (3) 他者と切磋琢磨し合いながら総合的な人間力を高めようとする生徒の育成
- (4) ソーシャルスキル、コミュニケーション能力の育成

iii) 基本的生活習慣の確立により、将来に向けての進路指導を充実させる。

- (1) 集団生活の約束を守ることのできる生徒の育成
- (2) 課題を共有し、励まし支える支援の強化
- (3) 自ら未来を切り拓く姿勢の育成
- (4) 資格取得に向けた支援の充実

iv) 地域や家庭、同窓会等との連携を図りながらキャリア教育を充実させる。

- (1) インターンシップ、ボランティア活動等の推進
- (2) アルバイト等の奨励による社会貢献に対する関心の喚起
- (3) ハローワーク等外部機関との連携による将来に対する意識の向上
- (4) P T A、同窓会等、学校関係機関との連携・協働による地域資源の活用

令和3年6月策定
令和5年6月一部改訂